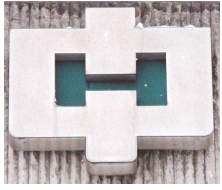


教育目標 「 豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒 」

重点目標 「 豊かな心 確かな学力 健やかな身体 」



あ さ ひ こ
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成28年 6月10日(金) No. 4

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

市中学校体育大会 粘り強く 地区大会進出多く

新潟地区予選 を兼ねた佐渡市中学校体育大会が7・8日の両日、各会場で行われました。3年生を中心に練習に励み、特に、この2週間は延長したり集中したりして、最終調整をして臨みました。週末の練習試合や遠征等、保護者の皆様にもご協力いただき、ありがとうございました。畑野中学校では、バレーボールが行われ、熱戦が繰り広げられました。文芸部は、会場で役員の皆さんに抹茶を出したり、応援団を編制したりして盛り立ててくれました。2日間を通じて、粘り強くあきらめず頑張り、地区大会出場を多くの部が決めました。大会結果は次のとおりです。

◇バスケットボール（男子）[サンテラ佐渡スーパーアリーナ]

- ・予選リーグ
対 相川 75-38 勝ち
対 佐和田 63-24 勝ち 予選リーグ1位
- ・決勝トーナメント（準決） 対 新穂 50-42 勝ち
"（決勝） 対 両津 50-66 惜敗



新潟地区へ

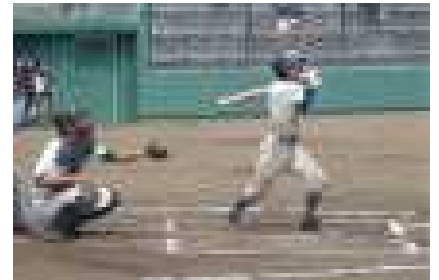
◇野 球 [金井球場、佐和田球場]

- ・予選リーグ
対 相川 14-6 勝ち（5回コールド）
対 金井 3-4 惜敗（延長9回） 予選リーグ2位
- ・2位リーグ
対 新穂 9-3 勝ち
対 南佐渡 5-4 サヨナラ勝ち **4位**

新潟地区へ

◇バレーボール（男子）[畑野中]

- ・リーグ
対 佐和田 0-2 負け
対 両津 0-2 負け
対 金井 0-2 惜敗 リーグ4位



◇バレーボール（女子）[畑野中、真野中]

- ・予選リーグ
対 赤泊 2-1 勝ち
対 佐渡中等 2-0 勝ち 予選リーグ1位
- ・決勝トーナメント（準決） 対 佐和田 2-0 勝ち
"（決勝） 対 金井 2-0 勝ち



新潟地区へ

◇バドミントン（女子）[金井中]

- ・団体戦 予選リーグ
対 佐渡中等 3-0
対 金井 2-1
決勝トーナメント（準決） 対 南佐渡 2-1 勝ち
"（決勝） 対 真野 1-2 惜敗



新潟地区へ

・ダブルス

畠野・高橋



小田・相田、榎・高橋 **3位**

新潟地区へ

・シングルス

高野、中村 地区決定戦 惜敗

河原・中川 地区決定戦 惜敗

新潟地区に向けての課題

相田

バドミントン部は、団体2位、個人ダブルス3組入賞という結果でした。好成績でしたが、内容的には十分とは言えませんでした。立ち上がりが悪くリードされてしまったり、途中でミスが続き追いつかれてしまったりと、課題がたくさん見つかった大会でした。

でも、部員みんなからの応援に元気づけられました。ありがとうございます。新潟地区も頑張ります。（バド部部長）

終わって気付くこと

市橋

大会を終えて思ったことがあります。それは悔いが残らなくてよかったということです。大会が始まる前は緊張や不安などが心の中であってモヤモヤしていました。ですが、全力を出し切り試合を終えた後には、なぜか自然にそう思えてうれしかったです。今まで練習してきたよかったと思っています。（男子バレー部部長）

千枚田をなぜあそこに作ったのか

佐渡学現地学習

が5月24・27・30日に学年ごと行われました。小倉の千枚田まで行き、小倉千枚田管理組合長の猪股さんからお話を聞き、その水源となる溜池まで往復しました。私も2年生に同行し、棚田と溜池を見て来ました。棚田のもっと高い所にこんな大きな溜池があること、そこから水路を引いて水源を確保していたこと、江戸時代からあったこと、またこの棚田を多くの人が守っていること等を知りました。2年生はメモを取りながらしっかり話を聞いていました。質の高い質問も出て、猪股さんも感心していました。

「トキと共生する佐渡の里山」がG I A H S（世界農業遺産）に認定され、佐渡島の自然、生物多様性、芸能、佐渡金山が深く関係していることを知るとともに、これらの棚田が小倉にできて、守られてきたことを学ぶ機会となりました。

とても明るい2年生と楽しく初夏の山道を歩くことができました。



避難訓練 二次避難想定で、すばやく行動

地震・津波

を想定した避難訓練を5月31日に実施し、生徒は真剣に取り組みました。私語することなく、頭を教科書や手で覆いながら一次避難をしました。さらに、津波警報が発令された想定で、二次避難をして校舎3階に上がりました。放送をよく聞き、防災担当の榎田先生、佐渡中央消防署の田中さんの話もよく聴いていました。

私も東日本大震災の時、「釜石の奇跡」と言われた中学生の行動を紹介しました。中学生が「津波がくるぞ、逃げろ」と呼び掛けながら、園児も連れて避難した。それを見た近隣の小学生も住民もつられて避難。一次避難場所で「ここではだめだ！」と進言し、二次避難場所まで素早く移動し間一髪助かった。中学生のその行動は、自分の命だけでなく、他の多くの命も救ったという事実です。

畑野中は海拔が高い（42m）から安心ではなく、いつどこで地震や津波に遭遇するか分かりません。だからこそ、田中さんがおっしゃっていた「避難三原則」を心に刻んでおきたいものです。

★ 津波から命を守る「避難三原則」

- ① 想定にとらわれるな
- ② その状況下で最善を尽くせ
- ③ 率先避難者たれ

避難訓練後の生徒の感想を紹介します。

今日の避難訓練を通して、放送をよく聞き、自分でも判断することの大切さが改めてわかりました。いざ地震がきた時には、冷静に行動できるようにしたいです。

（3年 本間）

今回は二次避難を想定した避難訓練を行いました。本当に地震が起きたら、今より移動がもっと大変になると思います。瓦礫で道が狭くなっていたり危険なことがたくさんあると思います。なので、訓練から真剣に取り組んで、本当に地震が起きた時に備えたいです。

（2年 丸山）

もし本当に地震や津波が起きたら、消防署の人が言った3つのことを思い出して高い所に避難するようにしたいです。人間はいざとなると行動ができないので、普段から地震がいつくるか備えておきたいです。校長先生の話の中学生が呼びかけて避難して助かった奇跡はすごいと思いました。1回逃げて、ここには津波が来ると思って、もっと高い所へ避難するように先生に言った中学生もすごいと思いました。

（1年 藤原）